

指導部だより

指導部高等学校教育指導課 指導主事 志村 大介

東京都高等学校数学教育研究会の先生方におかれましては、長年にわたり、様々な数学教育に係る研究活動を推進し、高等学校の数学教育の発展を図り社会の発展に寄与されていることに対して、深く敬意を表します。また、日々、数学教育の発展・充実に向けてお取り組みいただき、誠にありがとうございます。

さて、今般、東京都教育委員会は、令和6年度から令和10年度までの5年間で、東京都教育委員会として取り組むべき基本的な方針と、その達成に向けた施策展開の方向性を示した、「東京都教育ビジョン（第5次）」を策定いたしました。急速に進む少子高齢化や人口減少、日本の国際競争力の低下等、我が国が抱える課題も浮き彫りとなっています。こういった社会の変化に柔軟に対応し、子供の学びを支えることが重要です。生徒の理科や数学等への関心を高め、理数好きの生徒の裾野を拡大するとともに、科学技術の土台となる教育の一層の充実を図るため、次の事業に取り組んでいます。

1 「スーパーサイエンススクール」(文部科学省)

先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的な探究能力等を培うことで、将来、社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組

2 「東京サイエンスハイスクール」

生徒の理数分野等の興味・関心を更に向上させ、Society5.0に対応し、変化の激しい現代社会で活躍するとともに、国際競争に勝ち抜くことができる人材の育成を推進する。

3 「理数研究校」

理数に興味・関心をもつ生徒の裾野を拡大するとともに、優れた資質・能力をもつ生徒の発掘とその才能を伸ばすための支援を行い、東京都の理数教育の更なる充実を図る。

4 「SIP (Scientific Inquiry Program) 拠点校」

都立高校8校(各年4校、2年間の指定)を拠点校に指定し、各拠点校において理数分野に興味・関心のある生徒に探究活動の機会を提供するとともにその成果を全都立高校に発信する。

5 「創造理数科」の設置

理数系分野の幅広い素養と情報活用能力等、これからの社会において、新しい価値(イノベーション)の創造に向けて求められる資質や能力を育成する新たな学科を設置

6 「理数教育推進ネットワーク」の構築

東京都の理数教育に取り組む学校及び教員が、探究活動の指導方法等を共有する機会を設ける。

7 「Tokyoサイエンスフェア」の開催

科学技術・理科・数学等における複数分野の競技を提供し、科学分野に興味・関心をもつ生徒の裾野を広げるとともに、生徒同士の競い合いや活躍できる場を構築してトップ層の学力等の伸張を図る。

また、教育研究員及び研究開発委員会において、前者では、「全ての生徒の資質・能力を育成する、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業改善～各教科の見方・考え方を働かせた探究的な学習の実現～」について研究・開発、後者では、各教科の学習を実社会に生かすための教科横断的な指導及び企業や大学と連携した授業実践事例について研究を進めております。年度末に開催されます研究発表には、多くの先生方に御参加いただければ幸いです。結びになりますが、東京都高等学校数学教育研究会の皆様には、引き続き都教育委員会の取組に御理解と御協力を賜りますとともに、大学入学共通テストをはじめ新課程に対応した教科・科目等の再編など、これからの教育動向を注視いただき、数学教育の更なる充実にご尽力くださいますよう、お願い申し上げます。

東京都教職員研修センターだより

研修部授業力向上課 指導主事 塚田 恭平

教職員研修センターでは、令和6年度における算数・数学に関する6つの講座を開設し、東京都の算数・数学教育の更なる充実を図っています。その中でも、高等学校数学に関する3つの研修を以下に紹介いたします。今年度の募集は既に終了しておりますが、次年度の受講を考える際の参考にしていただければと思います。

研修名 数学【I・II】(一人1台の学習者用端末の活用)

「一人1台の学習者用端末を活用した数学科の指導法」

＜特色＞事前動画を踏まえた協議を通して、グループでの課題把握・課題発見を図ります。また、都立高等学校指導教諭等の模擬授業・実践発表を通して、数学科における一人1台の学習者用端末の活用について体験的に理解します。

＜内容＞

- ・事前動画を踏まえた課題発見のための協議
- ・模擬授業・実践発表を通じた指導法の理解
- ・校内での活用を図るための協議

研修名 数学【II】(東京理科大学で学ぶ数学の世界)

「数学体験館ってどんなところ?—数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実—」

＜特色＞東京理科大学と連携した研修です。「数学体験館」の施設見学や講義等を通して、数学的に考える資質・能力を育成する指導の新たな視点を学びます。

＜内容＞

- 「数学体験館」の施設見学
- 数学教育が担うべき役割について
- 数学と実社会との関わりについて

研修名 数学【II・III】(新科目の対応)

「生徒が数学の有用性を認識する指導の工夫—指導の改善・充実と評価のポイント—」

＜特色＞学習指導要領改訂のポイントや学習評価等について理解を深め、生徒が数学の有用性や実用性を認識できる指導の方法を検討し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高めます。

＜内容＞

- ・理数科「理数探究基礎」の授業づくりのポイント
- ・学習指導要領改訂のポイントと系統性を踏まえた数学の指導
- ・学習評価について

今後も研修内容の一層の充実を図りたいと考えております。参加の際は皆さまのお声を研修担当者にお聞かせください。